

# 苅田町財政健全化検討会議 報告書構成案

はじめに

## 報告書・概要

- 以下記述内容のまとめ

### 1. 現在の苅田町の財政状況

- 1) 全国・九州・苅田町の人口推移と予測
- 2) 苅田町財政・普通会計決算（歳入歳出）と主要財政指標の推移
- 3) 今後10年間の財政シミュレーション

#### <第1章の結論>

- 苅田町の財政は緩やかに悪化。不交付団体でありながら財政が破綻する可能性あり
- 財政改善のためには、単年度収支を均衡させる（これ以上の基金取崩を防ぐ）ことが必要。そのためには、年間約〇億円の確保（歳出削減と歳入確保で実施）が必要
- 歳出削減としては、「行政サービスの見直し」と「公共施設の見直し」、歳入確保については「税率変更や新たな税制導入」を検討することで実施

### 2. 行政サービスによる歳出削減の方向性

- 1) 単独事業と補助事業
  - 事業費内訳（公債発行対象経費/一般財源対象経費）
- 2) 目的別市町村単独事業費の項目別歳出での苅田町の特徴
- 3) 歳出削減の検討対象となる事業
  - 単独事業優先（更に一般財源対象経費による事業を優先）
  - 苅田町の単独事業（120）の分類（削減の検討対象の絞り込み）
  - 行政サービスによる歳出削減の検討
- 4) 歳入削減の方向性
  - 事業内容の抜本的見直し
  - 広域行政の導入による経費削減
  - 利用料金の適正化
    - 上記3項目については、最終的に苅田町各課にて検討

- 町行政の人的費の再検討

<第2章の結論>

- 苜田町の判断で削減可能な事業（単独事業）の抽出（＋一般財源対象経費による事業）
- 削減方法の方向性の紹介（事業費削減）
- これらにより、行政サービスの見直しで〇億円程度の歳出削減が必要

### 3. 公共施設における歳出削減の方向性

#### 1) 現在の主な公共施設の分布

- 公共施設等総合管理計画で取り扱われている施設
- 施設類型別に「敷地延床（施設）面積」「経過年数」「利用者数」を明示する地図

#### 2) 公共施設の維持管理に関する現状と課題

#### 3) 公共施設の見直しの方向性

- 経過年数が40年を越えた施設の更新に合わせて、統合を検討
- 施設の地元への移管
- 駐車場料金など、料金徴収により苜田町の財政負担軽減の検討 など

<第3章の結論>

- 現時点での施設維持管理に関する予算状況の説明
- 見直しの方向性を示す

### 4. 持続的な財政健全化に必要な行政評価

#### 1) 現在の苜田町の行政評価の実態

#### 2) 財政健全化を進める先進例

<第4章の結論>

- 行政サービスと公共施設の見直しにより歳出削減を進めるためには、異なる分野でも比較可能な事業評価、事業評価を翌年度の事業実施や予算に反映させる「行政評価」の導入と運用が必要
- ただし苜田町は、過去数度の行革に成功していないため、導入のみでは不十分。先進例から運用方法を踏襲することが必要

### 5. 歳入増の可能性

#### 1) 市町村民税における税率設定可能な税

#### 2) 苜田町で検討対象となり得る市町村民税

#### 3) 増税・税導入における歳入増シミュレーション

- 増税・税導入時の歳入の増額
- 増税・税導入時における住民や企業活動の変化

➤ 先進事例紹介

<第5章の結論>

- 一部税金の増税・税導入した時の歳入増シミュレーションの明示
- 求められる。増税・税導入時における住民や企業活動の変化への対応

## 6. まとめ～苧田町財政健全化検討に向けて必要なこと

- 1) 「行政サービス見直し」
- 2) 「公共施設見直し」
- 3) 「歳入の確保」
- 4) 行政運営を支える行政評価の導入
- 5) 不交付団体・苧田町が目指す財政健全化とは